

＜学校教育目標＞自ら考え、主体的に判断し、行動する、心豊かで心身ともにたくましい子どもの育成

めのと



7月 文責
夏休み直前 号

長崎市立女の都小学校 学校だより

令和4年7月11日 文責 校長：松田伊知郎

＜めざす児童像＞

- ① あてを立ててすすんで学ぶ子
- ② そみをもってたくましく生きる子
- ③ もだちとみがきあう思いやりのある子

台風4号接近による臨時休業の際は、前日午前中の連絡になりましたが、対応ありがとうございました。本市においては、臨時休業という措置の割に予想されたほどの風雨もなく、安堵しているところです。しかし、他県では水害が発生するなど、予想外の天候をもたらした台風でしたので、今後も気象や災害に関わる情報には敏感になっておかねばならないと痛感しました。

その後は台風一過の晴天もなく、空が雲に覆われた日々が続きます。それでも、小暑が過ぎ、蝉の合唱があちこちで聞かれるようになりました。蝉の抜け殻をいくつも拾って得意げに登校してくる子供の姿に、時代が変わっても子供はいつも無邪気なものだ嬉しくなります。そんな日常の平和がいつまでも続くように、私たち大人も気を引き締めたいものです。

～ 家庭でのクロムブック使用について ～



クロムブックの持ち帰り学習について学級懇談で説明等を行った学年もあり、家庭での学習の進め方やクロムブックの扱い方について、これまでよりも御理解が進んだと思います。クロムブックの基本的な操作や使用する教材（eライブラリなど）の活用については、それぞれの発達段階に応じて学校で学習を進めています。子供たちは感心するほど覚えが早く、様々なスキルを習得しています。しかし、クロムブックでの学習はPC操作スキルの習得が目的ではなく、学習効果を効率的に上げるためのものです。あくまでも、教育や教科・領域の到達すべき『目的』達成が第一であり、クロムブック活用やそのためのスキル向上は『目標』となります。

子供たちがこれから過ごす『Society 5.0（サイバー空間《仮想空間》とフィジカル空間《現実空間》を高度に融合させ、経済発展と社会的課題の解決を両立させるシステム）』の世界ではデジタル活用は必須です。但し、正しい活用による恩恵（光）と悪意のある活用による迷惑行為や犯罪など（影）があることを十分に認識し、正しい活用法を身に付けなければなりません。

クロムブックの扱いについては別資料も配付しますが、下記を基本と御理解いただき、取り扱いに御留意ください。なお、下記事項を守らずに破損や紛失等があった場合は原状復帰に要する費用等を実費で負担いただくこともあり、何よりも自他の安全を損なう重大事案に発展することと考えられます。御家庭でもその点を十分御理解の上、保護者の責任において目の届く範囲での使用をお願いします。

☆ 安全について

『使用時間を守る』 『端末・アカウント（ID）・パスワードを適切に取り扱う（第三者に端末を貸さない、第三者にアカウント（ID）・パスワードを教えない等）』 『アプリケーションの追加・削除、設定の変更は学校の指示に沿って行う（原則、行わない）』 『端末を使うときは、落としたりぬらしたりしないように注意する』 『学習に関係のない目的で使わない』

☆ 情報の取り扱い方について

『本人の許可を得ずに写真を撮ったり、録音・録画したりしない』 『自分や他人の個人情報（名前、住所、電話番号、メールアドレスなど）をインターネット上に不用意に書き込まない』 『他人を傷つけ嫌な思いをさせることをネット上に書き込まない』 『不適切なサイトにアクセスしない』 『インターネット閲覧時に通知の許可を求められてもむやみに許可しない』 『インターネット上のファイルをダウンロードしない』

～ 主体性のある児童を育て、現状を適正に評価します ～

第1学期終業式まであと2週間ほどです。夏休みを心待ちにしているのと同時に、少し気になるのは『通知表』ではないでしょうか。本校では、子供のより良い成長につなげるために、個々の学期毎の評価を各学期末に御家庭にお渡ししています。日常より、連携を密にすることで御家庭と同じ目線で、同じ方向性をもった指導を心掛けていますが、御不明な点があればお尋ねください。

《『主体性のある児童を育てる』とは》

「自主」「主体」は、大人でも難しいものです。子供にとっては『めあて（目指していくもの）』『～的、～性なので「こんな感じでやる」「やろうとする」も含まれたもの』として御理解ください。

人間が生きていく上での様々な能力は、本能として備わったこと以外は『学習』によって習得されます。よい学びをすればよいことが、悪い学びをすれば悪いことが身に付くので、家庭や学校、地域、社会での学習によって『よい主体性』を身に付けさせたいものです。しかし、そこには身に付けさせる仕掛けが必要になります。学校ではそれを「授業（学校生活自体が仕掛けとも言えます）」で身に付けさせています。学習指導要領では「育成をめざす資質・能力」を、『知識及び技能』『思考力、判断力、表現力』『学びに向かう力、人間性等』と三つの柱に整理していますが、『主体性』は三つの柱全てに関わりますので、その教科・領域としての主体性を習得させる仕掛けが、全ての授業に仕組まれているということです。但し、だからと言って『主体性』はすぐに、簡単に身に付くものでもありません。

《『現状を適正に評価する』とは》

評価は三つの柱に対応する『知識・技能』『思考・判断・表現』『主体的に学習に取り組む態度』の3観点で行います。3観点それぞれについて、各授業や単元・題材などのまとまりを『学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげるできたか』という視点で見ることによって『子供に『主体的な学び』が身に付いたか』を評価します。

『知識・技能』や『思考・判断・表現』については、単に覚えたというだけでなく、それが他や次の活動につなげる習得なのかで主体性を見ます。つまり、「テストが高得点」「雄弁」というだけでなく、教科・領域のねらいなどに向かって『知識・技能』を高めているか、『思考・判断・表現』を深めているか、と評価します。そのためには、学習の過程で行う論述やレポート、発表、話し合い、作品制作といった多様な活動を重視し、その様子を多面的・多角的に評価します。

『主体的に学習に取り組む態度』は『主体的』そのものですから、上手にやれても「先生や友達から言われたからやる」「活動を渋々やる」のは◎ではありません。逆に、試行錯誤してうまくいかなくても見通しをもって前向きにやった結果であれば、その過程を評価することができます。無謀さや危険性、雑さはNGです。『「いい作品を作る」「この技を成功させる」などの思いに、自分なりに「こんなにやたらうまくいきそう」「この手順でやれば成功しそう」などに見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を「ここまではうまくいった」「ここまでは今一つ」などと振り返って、「次に進もう」「修正や練習をしよう」などと次につなげた』のが◎評価です。結果や成果物だけでも、また授業の様子や態度を見ているだけでも評価はできませんから、カードや発表、その他によって構想や感想などの『思い』が分かるようにして評価に努めます。もし、御家庭での印象と通知表の評価の食い違いがあれば、それ以外の評価によるものです。不明な点はお尋ねください。

また、この評価は現状を適正にお伝えしているものとして、できていることを褒め、これからもっとどの能力をどうやって高めようという建設的な見地に立つための資料としてください。過剰な御褒美を与えたり発展途上のことを叱ったりせず、通知表を通した適正な家庭教育をお願いします。